2025
3・4月

sasaiレポ

発行/佐佐井株式会社
北九州市小倉南区上曽根新町2-25
☎ 093-472－1335
FAX 093-472－1790
http://www.bf331.com

コメ価格２倍、パンを逆転

高騰が続くコメの価格が、100㌔㌍当たりの単価でパンを超えた。主食としてはパンより安いのが魅力の一つだったが、コメは2024年に店頭価格が急騰し、一気にパンの価格を超えた。

100㌔㌍当たり2円高く

コメの生産者団体や卸会社などは、これまで「割安な主食」を訴求ポイントのひとつに揚げてきた。しかし、23年の猛暑による生産不振の影響で、24年夏にはスーパー店頭から一時消えるなど「令和の米騒動」が起こり、ここから店頭価格が急速に上がった。夏から秋にかけての収穫期前後にはコメ産地で奪い合いが過熱した。中小のコメ卸や外食などが農家に直接アプローチし、流通市場の川上で米を確保して、在庫を抱え込むようになった。

消費者買い控え 10kg→5kg袋に

物価高のなかで、コメの人気は根強く、高騰後も売れ行きは好調だ。主食の主役がパンへシフトすることはなさそうだ。ただ大手卸の幹部は「出荷数量が減ってきている。これまで10㌔㌘入りを買っていた人たちが5㌔㌘入りを買うようになっており、店頭での引き合いが弱くなっている」と話す。政府はコメの需給逼迫を緩和するため、備蓄米の放出に踏み切った。早ければ3月下旬には備蓄米の流通で、いったんは高騰の勢いが鈍るとの見方もある。

－日経MJ2025.3.17－

゜☆。.:*:・゜★゜'・:*:.。.:*:☆ *:・゜★゜'・:*:.。.:*:☆

佐佐井株式会社　社員紹介

今回は、西山 孝さんの紹介です。
西山孝さんは、4月から新入社員として、営業配送を担ってくれています。以前、趣味のイカ釣りで山口県の蓋井島に行きアオリイカの大物をゲットしたことがあるそうです。今は子育てに奮闘中！お子さんたちが大きくなったら一緒に釣りを楽しめるといいですね。ベテランの先輩方の指導の下、頑張っていますので、宜しくお願いします。

ふじや食品、不二家と新商品

卵豆腐や茶わん蒸しを主力としてきた、ふじや食品（福井県越前市）のスイーツ系ごま豆腐が人気だ。モンブランやラムレーズン味などを展開し、販売数は発売から5年間で約5倍に増えた。3月には洋菓子店を展開する不二家と組み、看板商品であるキャンディー「ミルキー」味の新商品を売り出した。デザートとしての提案で、ごま豆腐の購買層を広げる。不二家の監修を受けて、ふじや食品が開発した。堅めのねっとりとした食感で、練乳やクリームを使ったミルキー味のごま豆腐と、練りごまの香ばしさを生かしたごま豆腐が2層になっている。ペコちゃんの顔や「milky」を大きく描いたパッケージはまさにスイーツで、従来のごま豆腐のイメージとは異なる。購入した消費者からは「夜中のヘルシーおやつに最高」「しっかりスイーツで、モチモチ食感がやみつきになりそう」といった声があがる。不二家とのコラボ商品ではミルキー風味を損なわないように、ごまの風味はあえて抑えたという。

ふじや食品が不二家と開発した「milky胡麻どうふ」

消費者の新作への期待も高まっており、ごま豆腐の新しい可能性を求めて、ふじや食品の挑戦は続きそうだ。

－日経MJ2025.3.21－

・゜☆。.:*:・゜★゜'・:*:.。.:*:☆ :*:・゜★゜'・:*:.。

化粧品、キャンドルに再生

高島屋は、役目を終えたメーク用品をキャンドルにアップサイクルした「メイクアップキャンドル」を発売した。ろうそく大手のカメヤマ（大阪市）とのコラボ。使い残しの口紅やアイシャドーなどを顧客や同社グループの従業員から回収し、素材や色ごとに選別してろうに混ぜて仕上げた。キャンドルアーティストによるハンドメードで、外側に溶けにくいタイプのろうを採用。内側のろうだけが溶けるため、燃焼後は別売りのキャンドルを入れてホルダーとして使える。

直径6～8㌢×高さ10㌢で、約8時間燃焼する。表面の柄は6種類あり、いづれも香りが異なる。

－日経MJ2025.3.21－